

委員会議事概要

1. 委員会名	令和3年度 第2回沖縄県内水面漁場管理委員会
2. 開催日時	令和3年7月13日(火) 13:30~13:47
3. 開催場所	県庁2階労働委員会会議室
4. 出席委員 (定数8名中6名)	立原一憲委員、古谷千佳子委員、山川彩子委員、糸満盛也委員、大城哲郎委員、 宮良工委員(欠席:喜屋武俊彦委員、平光男委員)
5. 議事録署名人	古谷委員、宮良委員
6. 議事内容	
(1) 第1号議案	リュウキュウアユの採捕承認について(P1~P36)
【要旨】	(一財)沖縄県環境科学センター、琉球大学理学部から試験研究目的の採捕申請が2件あり、原案どおり全て承認された。
【特記事項】	<p>1. (一財)沖縄県環境科学センターの承認申請について</p> <p>【立原会長】安波と福地は生息エリアだが、羽地は、今は生息区ではない。それでも採捕対象地区に入れるのか。</p> <p>【事務局】申請書の記載どおり3か所と認識している。</p> <p>【宮良委員】議案書の「リュウキュウアユの放流、生息・遡上履歴」で生息の記載があれば、生息していて、記載がなければ生息していないのか。どの河川で生息しているかの情報がない。河川で調査時には必ずリュウキュウアユの採捕申請はしないとイケないのか。</p> <p>【事務局】委員会指示第2で、名護市、今帰仁村、大宜味村、国頭村及び東村における内水面及び外面につながる河口付近が申請対象。このエリアで(採捕を行う場合には)承認を取る必要がある。</p> <p>2. 琉球大学理学部の承認申請について</p> <p>【立原会長】議案の利害関係者(申請者)であるため、臨時議長に宮良委員を指名して、審議から外れた。</p> <p>【立原教授】(補足説明)沖縄に放流したときに、追跡調査を義務づけられた。全ダム湖が調査対象だが、モニタリングの基準を福地ダムとし、26年間毎月調査した。調査水域が米軍施設内にあり、去年4月から調査出来なかったが、許可が下りた場合に備えて、継続調査のために申請した。</p>